



赤磐市議会だより

平成26年6月議会 第37号



議会報告会を開催しました	2P
6月定例会のあらまし	5P
委員会のうごき	9P
15人の議員が一般質問	12P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

第1回議会報告会を開催しました

平成24年12月に制定された赤磐市議会基本条例に基づき、初めての議会報告会を4月に市内5カ所で開催しました。

報告会には合わせて97人のご参加をいただき、日頃の議会活動の状況を知っていただくとともに、さまざまなご意見やご提言をいただくこともできました。

いただいたご意見等は今後の議会活動の参考とさせていただきます。また、まとめたものをアンケート結果とともにホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ご出席いただいた市民の皆さまには大変ありがとうございました。

日 時	会 場	出席議員（◎班長○副班長）	参加者
4月15日（火） 19時から	中央公民館	◎治徳 義明 ○佐々木雄司 丸山 明 行本 恭庸 北川 勝義 小田百合子	19人
4月15日（火） 19時から	桜が丘いきいき交流センター	◎岡崎 達義 ○福木 京子 光成 良充 保田 守 下山 哲司 実盛 祥五	32人
4月15日（火） 19時から	赤坂健康管理センター	◎金谷 文則 ○松田 勲 澤 健 原田 素代 佐藤 武文	14人
4月17日（木） 19時から	くまやまふれあいセンター	◎治徳 義明 ○佐々木雄司 丸山 明 行本 恭庸 北川 勝義 小田百合子	15人
4月17日（木） 19時から	吉井支所	◎岡崎 達義 ○福木 京子 光成 良充 保田 守 下山 哲司 実盛 祥五	17人

※参加者数は関係者を除いています。

皆さまからいただいた
主なご意見(一部抜粋)

◆中央公民館



- 新設の松木く下市間の市民バスがどのようになるのか。宇野バスの減便に伴う市内全域の交通体系の改善の要望。
- 小規模多機能施設について、過去の失敗を踏まえてどのように取り組むのか。また、失敗した場合の責任の所在はどこなのか。
- 太陽光発電は直営で経営した方が財政的にメ

リットがあるのではない
か。なぜ、もっと深く
議論をしないのか。

- 山陽団地は住宅専用地域だが、今後、県との話し合いをどのように取り組むのか。
- 報告会について、約20名。少なすぎる。広報活動等のやり方を考えるべき。

◆桜が丘いきいき交流センター



- 市のホームページは旧4町は出ているが桜が丘が出ていない、優れた住環境の桜が丘を紹介してアピールをしてもらいたい。

介してアピールをして
もらいたい。

- ゴミ焼却灰の最終処分場は。現在はどのようにしているのか。
- 医師会病院は市の中核病院であるのか、また今後どう変わっていくのか。
- エコプラザあかいわの煙突から出るダイオキシン等の測定方法は。また、桜が丘西8・9丁目だが要望すれば測定器は設置してもらえるのか。
- アクションプランで6億円の削減の根拠は。
- 子どもの問題行動が多い。市の対応部署が多いので相談窓口を一本化して対応をしてもらいたい。
- 学力をつけるための、学習の手引きや学習の仕方についてのパンフレットを作成して全生徒に配布してもらいたい。

- 地域性を生かして企業誘致の推進や観光開発に力を入れてもらいたい。高速道路インター

チェンジもあるので有
効に生かしてほしい。

◆赤坂健康管理センター



- 消防本部もゴミ焼却場も、東窪田には説明がなかった。津崎とは協定を結んだが東窪田とは協定がない。
- 赤坂の下水道工事の計画がでないので、修繕工事をしていいものかどうか、困っている。
- 赤坂支所の横の池も含む土地に保育園を建設するということだが、地下水問題をわかって

いるのか。

- 教育問題だけでなく子育て支援についても地域の力を活用した取り組みを進めるべき。成果が出たら報奨金を出す県知事の制度は間違っている。玉野市長のように拒否すべき。
- アクションプランで栄養委員、愛育委員を減らす理由はなにか。減らすべきでない。

◆くまやまふれあいセンター



- 地酒で乾杯条例はスローガンやアピールで

よかったのではない
か。強制的なものを感じ
る。条例なら振興対
策が必要であり、産業
振興につながってい
ない。

○災害対策について、
ハード面だけでなくソ
フト面の施策をしつ
かりとやってほしい。特
に、ハザードマップ等
を周知徹底して、災害
弱者対策をしつかり
やってほしい。

○山陽線・熊山駅等、勢
力地区の水害対策、特
に内水対策が遅れてい
る。

○広域農道について、標
識等の安全対策の整備
ができていないのでは
ないか。

○赤磐市環境センター
(エコプラザあかいわ)
入札は問題はないのか。
○小学校の35人学級の実
施は評価するが、学校
の統廃合の懸念があ
る。この問題をどのよ
うに考えているのか。

○12月議会の厚生常任委
員会において補正予算
が否決をされた。なぜ

否決をされたのか詳細
説明を。

○地域医療ミーティング
のメンバーはどのよう
に人選したのか。傍聴
に行ったが、全く機能
していないように感じ
た。赤磐市の地域医療
についてもっと真剣に
考えていくべきである。

○報告資料のフォーマッ
トを3委員会揃えてほ
しい。

○ふれあいパークは一部
事務組合で管理をして
いるが、施設は赤磐市
内にあるのもっとよ
りよい施設にしてほ
しい。

◆吉井支所



○小学校の少人数学級を
増やしていくのは結構
だが、地域によっては
児童数が減少している
ところもある。小学校
を統廃合することはな
いのか。

○鳥獣被害には難儀をし
ている。補助をお願い
したい。

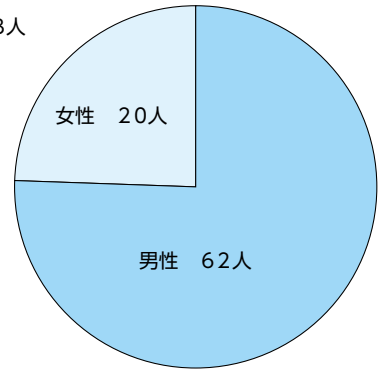
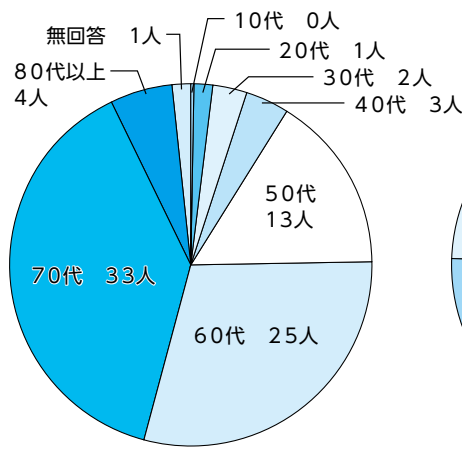
○周匝地域でボランティア
活動をしているが、
吉井川の堤防に大水が
出たから泥がたまつて
草刈り機などの機械が
使いにくいので、整備
をお願いしたい。

○医療体制で懇談会をし
ているが、吉井地域の
事も考えてもらいた
い。周匝地域は医者
がいなくなっている。

○合併して良かったの
か。合併当時は財政的
に合併しないといけな
いように言われたが、
何のメリットもなく
年々寂しくなってい
くばかりで、なんとかな
らないか。交通量も半
分になった。活性化策
を考えてもらいたい。

アンケート結果 (抜粋)

参加人数	97人
回答者数	82人
回答率	84.54%



6月定例会のあらまし

議案審議

6月定例会を6月9日から6月27日まで、19日間の会期で開催した。報告案件4件、承認案件2件を承認、議案15件を可決、請願2件を採択、1件を継続審査とし、議員発議の意見書2件を可決した。また、人事案件1件を適任とした。

新市建設計画の変更

問 人口の見通しで平成12年度からは6・5%増の見通しとあるが、この増加率が今後も維持されるのか。

答 今回の変更の趣旨は国の法改正に対応する計画期間の延長で、目標の4万6000人に達していないので数値を据え置いた。

問 住環境整備の農業集落排水事業の推進は今後取り組んでいくのか。

答 平成16年度に合併協議会で約束した事業計画で、完了したもの、ないものもある。完了した

から削除ということはない。

問 ごみ処理の広域化はこれからはあり得ないと思うがどうか。

答 赤磐市は単独で行っているが、国・県の広域化計画はまだ事業が進んでいるので、計画期間の延長で内容は変更していない。

公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結

問 事業の委託内容、契約金額の用途内容は。

答 毎年浸水被害を受けている千躰地区の浸水被

害軽減を図るため、千躰第2雨水ポンプ場を建設するものである。平成26年度から28年度までの3年間の工事で、建設・機械設備・電気設備工事等を一体的に実施するた

め、工事設計、発注、管理監督、検査までを日本下水道事業団に一括発注する。工事費は4億6000万円、調整池を要する費用に約3億7000万円、機械・電気設備等に約9000万円である。

る。委託料は2800万円である。

問 日本下水道事業団に委託せずに、赤磐市の業者に発注はしないのか。

答 土木、建築、機械、電気、各々の専門技術者が必要で、この技術を抱えている日本下水道事業団に、発注、管理監督、検査を一式委託する。地元企業の活用は日本下水道事業団に強く要請を行う。

補正予算

一般会計

問 市制10周年記念事業として映画を製作するとして企画費540万円が

計上されているが、経緯等の説明を。

答 3月に松竹撮影所の社長と面会して、赤磐市の農業が舞台となる映画「種まく旅人3」（仮題）の誘致をした。そして、松竹撮影所と協定締結を行った。農林水産省も後援している映画であり、全国発信の大きなチャンスと考える。

問 投資効果があるのか。
答 協定を結んだばかりで具体的には決まっていないが、桃、ぶどう等の第一次産業を中心に製作をする。また、ロケ地、エキストラ等々、地元参加型と考える。赤磐の特産品が全国にPRできるよう、仕組みを作れるよ



う今後実行委員会をつくって進める。

問 企画費の540万円は何に使うのか。また、今後どのような負担が生じるのか。

答 調査、シナリオをつくる費用の一部に充てる。映画製作費は、1億3000万円程度である。松竹が約8000万円の協賛を募り、赤磐市ではないが、実行委員会（もしくはフィルムコミッション）が、協賛を赤磐市や岡山県内の企業等に約5000万円を募る。

問 映画「種まく旅人」は3作目であり、1作目の臼杵市、2作目の淡路の調査はしたのか。

答 臼杵市は500万円程度映画製作のために出している。淡路（淡路市、洲本市、南淡路市の3市）には調査に行く予定である。

問 民生費の高齢者福祉費、繰出金21万4000円は訪問看護の研修受講

のためとあるがどういうことか。

答 訪問看護研修受講の旅費、ステーション利用者の居宅訪問時に使用するカーナビゲーションの購入費の追加分である。

問 民生費の地域振興費、負担金、補助及び交付金の330万円について、是里、東軽部地区の事業、活動内容・報告はどうなっているか。

答 地縁団体「是里むら」にテントと放送器具等で100万円、東軽部区にテーブル、椅子、テント、放送器具および収納する簡易物置で230万円である。事業完了後2カ月以内に報告を行うようになっている。

問 コミュニティ助成事業の財源は。

答 財団法人自治総合センターのコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備費等に対して全額助成をする事業（宝くじの社会貢献広報事業）を活用する。

問 有利な財源、有利な補助があれば行政職員の業務負担になってもやっていくのか。

答 財源が有利だからといって不必要なことはやらない。市民の利益、有効に活用されるか、しっかり検証する。

問 保育園統合は単に統合だけが目的なのか。

答 しっかり充実した保育園にすることが重要と考える。そのため調査・研究していく。

問 医薬材料費は、ジェネリック医薬品も考慮しているのか。

答 使える人にはジェネリック医薬品の使用を要請している。

問 赤坂天然ライスの修繕費2474万3000円が計上されている。経緯の説明を。

答 地域農業の活性化のために平成7年に整備された施設である。平成25年2月に前の指定管理者が取り消され、本年3月、

施設の有効利用を図るために新たな指定管理者を株式会社GFJに決定した。

問 修繕内容は。

答 建物の雨漏り等の修繕や水道、電気設備、空調設備、排水処理施設等の修繕や修繕工事の施工監理委託料等である。調理器具、検査器具、梱包機等は、指定管理者が整備する。

問 撤去するものはどうなるのか。

答 故障して使えない物や邪魔になる物は、市側の費用で撤去する。

問 投資するだけの金額に見合う事業なのか。

答 地域の雇用、地域の農産物の利用等、地域の活性化のために推進している。また、この事業は国の補助事業であり、このまま事業を廃止した場合、国に対して約5500万円の補助金の返還が必要であることも考慮した。

問 土木費の道路新設改良費2005万円は何を基準に決め、実施するのか。新設改良の道路の交通量調査は行ったのか。

答 下市地内の狭あい道路整備事業で市街化区域の未利用地解消のために、市道の改良と北釜底線の仁堀地区から美作岡山道路路佐伯インターを結ぶ路線で、幅員が狭小でカーブも多い区間なので改良を進める。交通量は1日当たり80台で将来予測で450台と推計する。

問 産官学連携事業の詳細説明を。

答 子どもたちの学習意欲の向上や学習の習慣化を図ることが目的である。産官学連携して、開発された学習ドリルとタブレット端末を活用した補充学習を実施する。

人事案件

次のとおり適任とした。

人権擁護委員

北牧 哲夫

(桜が丘東6丁目)

任期

平成26年10月1日～

平成29年9月30日

反対討論

議第40号 公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について(3人)

・下水道事業団に一括委託契約をせずに、建設工事は分割発注にすれば、地元企業が参加できる事業である。分割発注にせず、下水同事業団に一括契約すること、丸投げといわれてもしかたがない。

・今までは土木工事は地元発注で3年間やってきた。資料によれば一般の建設事業である。地場産業の育成、活性化を本気するのであれば、分割発注して地元業者に受注させるべきだ。これでは地元業者は浮かばれない。

・市長は「専門家がいらないから」と答弁を繰り返すが、就任以来なぜ、職員の研修、育成、配置など手当をしてこなかったのか。

・ごみ処理場も、下水処理浄化センターも管理運営委託の入札におかしいことが続いているが、今回も何か意図が働いているのかと思わざるをえない。

議第42号 税条例等の一部を改正する

条例

軽自動車や原付、オートバイなどにかかる軽自動車税が大幅に増税される。公共交通機関が衰退した地域では、住民の重要な

移動手段である。消費増税に加え軽自動車税の増税は、雇用や経済の二重の負担を押しつけるもので反対する。

議第52号 一般会計補正予算

【企画費540万円】 (4人)

・山陽新聞では「特産の桃を栽培する農家の未来を描く作品」と報道されているのに、6月2日の全員協議会での説明と違うのは納得できない。

・6月2日に協定と覚書が交わされており、製作協賛金の5400万円の調達とその支払い、さらに製作協力実行委員会についてもまったく説明されていない。これは不誠実で議会軽視である。5400万円の協賛金が集まらなかつたら責任は誰がどうとるのか。

・映画製作事業の市にとってのメリット、市民の果たす役割など何も具体的な説明がない。

・6億円削減の財政健全化の途上にある中、540万円の支出は許されない無駄使いである。

・元来協定書や覚書は、議長が立会人になって交わされるのが公式である。松竹社長を紹介した人物が誰なのかも言えないとは説明が果たせていない。

・不透明でルールにのっとっていない大金の動く事業は反対する。

・10周年記念事業として市民参加の有無など、製作協力実行委員会の内容、市民の果たす役割と内容が明確に提案されていない。

・6月20日の総務文教委員会の傍聴の際、唐突に協議会になり、傍聴できなくなつた。市長の責任で実行委員会を作るのであれば、行政の仕事に差し障りが起きないか。

・議会の議決を経ない予算を前提として、覚書と称する契約を結ぶことは大きな間違い。さらにこれからどうなるかわからない実体のない実行委員会が、5400万円支払うという契約書を結んでいることもおかしい。

議第52号 一般会計補正予算

【赤坂天然ライス】

2344万3000円もの修繕費用をかけて事業をやるのなら、納得のいく説明をするべきである。

請願

請願第3号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願 **【採択】**

請願第4号 集団的自衛権の行使容認に反対の意見書提出を求める請願 **【継続審査】**

【要旨】 憲法の解釈改憲は立憲主義を根底から否定するものである。日本を再び「海外で戦争する国、若者が戦場で血を流す国」にしてはならない。

【反対討論】 国民の命、国のあり方が問われる重大問題なのに、国会審議もなく密室協議で閣議決定するなど許されない。地方議会でも反対の意見書が114出ている。

請願第5号 食料自給率の向上を最優先にした「農政改革」を求める請願 **【採択】**

発議

日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書 **（可決）**

【要旨】 核兵器のない世界への行動が直ちに開始されるよう、核軍縮・廃絶と安全保障にかかわる多くの国々と協力し核兵器全面禁止条約交渉のために努力する。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣

食料自給率を最優先した「農政改革」を求める意見書 **（可決）**

【要旨】 食料自給率を向上させ、家族経営をはじめ担い手の支援、後継者の育成をし、農家の経営を守るため経営所得の安定、拡充を進める農政改革を求める。

【賛成討論】 今の農政の方向は家族経営型農業を後退させ、市場原理化させるものであり、国産米の安定供給を願う国民の願いはもとより、世界の流れとも相いれないものだ。

【提出先】 内閣総理大臣、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長

平成26年6月第2回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて 赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第16号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	—
議第40号	赤磐市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	—
議第42号	赤磐市税条例等の一部を改正する条例（赤磐市条例第18号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
議第52号	平成26年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	—
請願第4号	集団的自衛権の行使容認に反対の意見書提出を求める請願	継続審査	●	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	—
請願第5号	食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める請願	採択	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第6号	食料自給率の向上を最優先した「農政改革」を求める意見書	可決	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

総務文教 常任委員会

6月20日に総務文教常任委員会を行った。
議案7件、請願2件について審査した。

一般会計 補正予算

問 映画製作について詳細を聞きたい。

答 市制10周年記念事業として6月2日付けで、赤磐市、(株)エネット、(株)松竹撮影所の3者で映画についての協定書と覚書

を締結し、負担金として540万円支払う。その中で、実行委員会を作ることや製作協賛金5400万円を実行委員会が集めることになった。

問 540万円の負担金について、予算が通っていないのに覚書を交わしているが、それは正しいのか。製作協賛金は、実行委員会が集めることだが、市長命令で寄付を集めるのは正しいのか。

答 エネットは東京にある資本金3000万円、社員40人の会社である。松竹との資本関係はわからない。

問 赤磐市が実行委員会に入ると思うが、入ったメンバーで実行委員会に寄付はしないのか。

答 実行委員会へは、製作に協力するところと協賛する会社が入る場合もある。当然赤磐市も入るし、赤磐市の住民も色んな形で入ってくると思う。その時に入っている者は必ず寄付するのかわからない。この問題がでてくるので、これから検討する。

問 松竹ではなく、エネットが幹事会社として責任を持って実施する協定になっている。エネットとはどういう会社か。松竹との資本関係はあるのか。

答 そういったあたりも含めて実行委員会を立ち上げる要綱の中でうたっている。運転資金もあるので十分検討していく。

問 協賛金を出した人は実行委員会に入るのか。

答 どういう組織を作るか十分検討したい。事前



種まく旅人3 (仮題) の調印式

答 民間契約で、先方がどうしても必要という覚書で覚書を結んだ。議会の承認が必要という停止条項を設けているの

問 実行委員会が立ち上

答 例をお願いしてもなかなか見せてもらえないが、同様な協定をしている。

問 利用料金を上げて利用率は大丈夫なのか。邑久や瀬戸などと同じような金額を徴収して利用者が増えるとは思えない。どう考えて改正するのか。

答 市内の状況を見渡した限りでは逆に今まで安価であった。均衡を図る



吉井グラウンド

という意味で上げる。現在の利用者数が保てるという見解である。

問 利用率がいいところは施設が整っていたり便利だったりと何らかの優位性があるからそこにいく。優位性がなければ減っていく。

問 着手にならないように予算が可決されたら7月くらいから事務を進めていく。

体育施設条例 の一部を改正 する条例

答 吉井の地理的な条件などもあり、料金を上げることで利用者の減少も懸念されるので、施行日から料金を値上げして、10月から11月頃までの利用状況を見て不公平が出るとあれば、新たに検討する。

厚生 常任委員会

6月18日に厚生常任委員会を行った。
議案8件について審査した。

条例改正

乳幼児等医療費 給付に関する条 例

問 条例の変更点の詳細説明を求める。

答 高齢者医療と、訪問看護事業を追加し、訪問看護医療費用は、今回から市が直接医療機関へ払うことになる。

国民健康保険 診療所条例

問 7月1日より熊山診療所が佐伯北診療所、是里診療所とともに赤磐市国民健康保険所条例の事業所として、名称が統一されるのか。

答 7月より赤磐市民診療所の名称が、赤磐市民健康保険熊山診療所と

変更される。

訪問看護ステーション設置条例

問 ベルの名は、過去にもあったのか。

答 以前、訪問看護ステーションベルの名称で活動していた。

問 今回新たに条例を定める意味はなにか。

答 公の施設で設置する場合、条例が必要である。

問 市長は特別な理由があれば、利用料を減免できるとあるが、詳細説明を。

答 たとえば、扶養している人が

いない人の看取り費用などの特殊なケースが考えられる。

柵原吉井特別養 護老人ホーム組 合規約の変更

問 規約変更の内容説明を求める。

答 共同処理する管理運営事務を明確に表記し

補正予算

一般会計

地域振興費

問 コミュニティ助成事業で、地域からの要望の取り扱い基準の説明を求める。

答 申請の内容を精査して、すべて県へ送付している。採択されない場合でも3年目くらいには支給対象になる。

児童福祉費

問 赤坂地域保育園事業で、ため池が保育園予定地にあるが、災害の心配はないのか。

答 裏山があり、設計ではため池に防災機能をもたせて設計をする。

問 この事業は地元了解は取れているのか。

答 区長とも協議、調整を行い、慎重に進めている。
問 事業用地の評価と費

用については内容が変わっていない。
聞きたい。

答 不動産鑑定を3月にして、その結果を予算計上している。

池の水

問 池の水

利補償費用について説明を求める。

答 池の水

利権補償として、200万円を計上している。

問 事業費用の資金調達はどこからしたのか説明を。

答 1180万円を、合併特例債の起債で賄う予定である。

保健衛生総務費

問 25年度の医薬品費用を、なぜ今ごろになって補正予算に計上したのか。

答 市民病院会計の廃止にあたり事務処理で引き継ぎが十分できていなかった。平成26年度の市民病院清算事業に、医薬



赤坂地域統合保育園建設予定地（赤坂支所の隣）

訪問看護ステーション事業特別会計

品未払分を追加計上した。誠に申し訳なくお詫びする。

問 今回の補正予算の説明を求める。

答 熊山診療所に設置される訪問看護ステーションに勤務する職員の研修費用である。

産業建設 常任委員会

6月19日に産業建設常任委員会を行った。
議案2件、請願1件について審査した。

公共下水道根幹的 施設の建設工事の 委託に関する基本 協定の締結

問 この協定は丸投げなのか。それとも丸投げというのとは一般的にいう意味ではなく、他の意味に

答 捉えられているのか。丸投げの捉え方は一括委託という形である。市町村の技術者不足を援助するための組織が日本下水道事業団であり、経験も豊富なので一括委託が最良の策だと考えている。

問 他にも方法があるのか。検討した内容は。

答 技術者養成をする方法が一つある。また各工種によつて発注する方法があるかもしれない。しかし、最終的には資格を有する者が施工しな



下水道根幹的施設建設予定地（千駄）

くてはならないことがネックになっている。

問 地元で工事を発注するように強く要請するということが、入札方法や業者登録等いろいろあると思うが、どのように考えているのか。

答 地場産業の育成のため、地元の業者を使つてもらふように下水道事業団に要請していく。入札については一般競争入札で行うと聞いている。

問 分割発注したら赤磐市の業者の技術者で十分間に合うのではないか。

答 建設工事・機械工事・電気工事についても技術者が必要であり、下水道事業団法によつて委託方法が決められている。分割発注しても市には技術者がいないため、下水道事業団に発注することになる。

問 土木工事だけでも分割発注ということは考えられなかったのか。

答 一般の土木工事と違って、下水道工事を行うためには技術者が必要だということが下水道法で定められている。

問 工事をして管理運営上瑕疵ができた場合は、下水道事業団が責任を持つのか。市にも責任がかかってくるのか。

答 工事の瑕疵にはいろいろなパターンがあるが、下水道事業団が瑕疵を引き受ける。

一般会計 補正予算

問 赤坂天然ライス施設修繕関係費用について、設置から18年経過しているということだが、過去の修繕はどのようなしているのか。

答 平成19・20年は施設の改修、平成22年は外壁の吹付をしている。修繕費用は平成17・18年は約2000万円、平成19年は約500万円、平成20



地域食材を栽培する野菜畑

を返還しても建物に残るの、管理等も必要になり、地域の活性化にもつながってこない。今回の指定管理者が利用することによって、雇

年は約400万円、平成22年は約1100万円である。

問 ものすごい金額が修繕工事にかかっているが、今後もこういう形でやっていくのか。

答 今回修繕することによってある程度の付随設備の修繕が終了する。今後のことは予測できない。

問 毎年2000万円もかけて市が指定管理者を募集して継続していく意味があるのか。

答 補助金を返還することも検討したが、補助金

の拡大になる。今回20人ほどが計画されている。冷凍食品が主な製品であり地域食材は、人参・キャベツ・米等を使い、学校給食にも利用している。地域の食材を使うことにより農家の所得の向上や耕作放棄地対策にもなると思っている。

一般質問

市の考えを問う



15人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

問

備作高校跡地利用に係る協議会の開催を

答

現状の報告等を含めた開催を考える



北川勝義議員

問 備作高校跡地利用について、推進協議会の開催はどうなっているのか。

答 長期間開催ができていない状況だが、この現状の報告等を含めた協議会の開催を考える。

問 企業誘致(工業団地)等の進捗状況は。

答 USSおよびUS物流は8月に操業予定、ホリカワ運送は造成工事がほぼ完了している。

問 最終処分場について、石蓮寺地区等現在の状況報告を。

答 焼却・リサイクル・最終処分場は重点課題であり、関係地区の人々に丁寧な説明をし、理解が得られるよう努める。

問 医療体制について①医療ミートイニング推進協議会・医療体制を考える懇談会の進捗状況は②吉井地区診療所の改修・建

て替へは進んでいるのか。

答 ①市北部地域と熊山地域で各1回開催し、公共交通の充実、医療と介護・福祉の中間的施設の設置要望があった②赤磐市の医療体制の将来を考える懇談会など関係者から意見をもらい検討する。

問 道の駅のような直売所を早急に整備してはどうか。

答 地域農産物の販売拠点として必要な施設であり、先進的事例の情報収集に努め、JAG岡山東と連携・協力し研究する。

問 ①未使用地を太陽光発電等有効活用しては②桜が丘中央のシヨッピング再開発はどうか。

答 ①利用可能な土地は13カ所、約3万8000㎡であるが、

太陽光発電施設設置の適地は無い②地域にとって有効な利用や入居の促進につながる取り組みが必要と考える。

問 学校施設(吉井中学校プール)の整備について。

答 現時点では、B&G海洋センターを有効に活用することとし、今後さまざまな角度から検討する。



元備作高等学校の外観風景

表紙のひとこと 桃狩りを楽しむ保育園児たち

梅雨明けが遅く、はっきりしない天気が続いていました。しかし園児たちの思いが届いたのか、その日は朝から快晴の桃狩り日和。

桃園に着いてからは経営されているご夫婦の説明を聞くやいなや、あちこちの枝に小さな手を伸ばしていました。自分たちでがんばって採った桃を口に入れた瞬間「すごい甘くておいしい」と笑顔で教えてくれました。

問 放課後児童クラブの減免制度を作って欲しい

答 ひとり親家庭等に来年度から減免を実施したい



澤 健議員

保育と教育の連携について（昨年9月議会質問内容の進捗状況について）

問 保育園と幼稚園の先生の合同研修会（幼児教育推進保幼合同研修会）に小学校の先生も参加し、保幼小接続の理解を深め学力低下や非行の問題と一緒に立ち向かって欲しい。

答 今年10月に行われる保幼合同研修会に小学校の先生も参加し、連携を深めることとしたい。

桜が丘地区東西融合のために行政ができること

問 ①平成23年に桜が丘東連合町内会に「桜が丘西・東地域は統一した業務管理を本庁で行うこ

と」を約束しているが進んでいない。約束通り実施して欲しい。
②現行熊山地区、山陽地区で区長・町内会長会議を実施しているが、2回実施する会議の内、1回は桜が丘地区町内会長会議を実施して欲しい。

答 ①市行政見直しで相部分解消されてきている。十分でない部分があれば、今後、前向きに対応したい。

②地域課題を共有している桜が丘東西が統一して協議する場もコミュニティ推進上大切だ。実施は区長会、町内会、自治連合会で協議する必要がある。結果に従って市も支援したい。



幼児教育推進保幼合同研修会

問 交通網等のインフラ整備の早期対策を

答 優先順位の高いところからまちづくりを目指す



松田 勲議員

成27年度の完成にずれ込む。

新消防本部前の歩道拡幅は、今年度南側へ向かって約200mが予定。五日市交差点までは平成27年度末に完成予定。

桜が丘から環境センターへのアクセス道路は、地権者および地元関係区との協議を進めている。

問 交通網のインフラ整備がなかなか進んでいないが、早急な計画と対策が必要ではないか。

答 整備中または計画されている主なものの進捗状況はどうか。

TSUTAYAとあずまやとの間の工事は、26年度末完成の予定であるが、水道管の移転で遅れる。

マックスバリュ前の右折レーンには、中国電力の電線が通っており、平

にやってみるべきではないか。
・収集コースを地域平等になるように1年ごと変えていく。
・ごみ収集車とごみ袋に企業広告を積極的に募集していく。

・区長会の理解も要るが、各ごみステーションにも企業広告を募集して掲載をする。

答 早期回収に努めているが、市全体の収集効率の中で考えていく。広告は広告事業の実施を調査検討し、28年度から実施予定。

可燃ごみ袋の広告事業の実施ならびにごみ収集車の広告事業の実施とあわせて検討する。

ごみ収集について

問 新環境センターが完成したが、ごみ収集車がなかなか来なくなると聞く。予算が厳しければ、次のようなことも積極的



TSUTAYA前の交差点付近

問 危機意識を持って行財政改革に取り組んでいるか

答 職員一丸で取り組んでいく



佐々木雄司議員

問 行政事務連絡委託費等に代表される補助・委託事業について、他の事業と重複する二重効果が予算圧迫になっているようだが、14億円分の行政改革計画とどのように絡めていくのか。

答 14億円分の経費圧縮をどのように進めていくのかについては、平成32年までの必達が決まっている。早期に計画を作り上げ市民の皆さんにご報告したい。

問 今後における行政改革の計画はどのように決定するつもりか。

答 現在までも基金からの繰り入れに頼らず、選択と集中による事務事業の見直しなど、可能な限り努めてきた。今後において地方税の増収が見込めない以上、事業仕分け等により一つ一つ事業を



見直し、引き続き可能な限り削減を図っていく方法を実施する。

問 行政改革の計画は外部有識者の手を借りた方が効果的ではないのか。

答 外部有識者が持つ専門性は利点だが、地域が持つ特性等のきめ細かい部分での意識共有が難しく、むしろ職員一丸で危機意識を高め取り組んでいく方が効果的である。鋭意推進していくので宜しくお願いしたい。

問 教育改革において学力向上も良いが、人間力向上の取り組みも必要ではないか。教育カリキュラムの再編を期待する。

答 検討する。

問 10年20年先を見据えた公有財産の処理対策は

答 国の動向を注視し、計画策定に努める



金谷文則議員

問 計画をしているか。

答 昨年、国においてインフラ長寿命化基本計画が策定された。国と歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進する計画が必要と考えている。長期的な視点による公共施設等総合計画を策定する方針。その中で最も重要なものはコスト意識。市内全域の公共施設の洗い出しをしていく。

小中一貫校や小中一貫教育の推進が必要では

問 小中一貫教育や一貫校について、本市の小中の交流の実情と考え方はどうか。山陽新聞に「義務教育学校創設へ、文科省検討、小中一貫校を制度化」と見出しが出ている。どのように考えるか。



赤坂支所・赤坂中学校 周辺

また、学校も統合をしなければならぬ。そのたびにお金があることを考えると、小中一貫、一つの敷地内、小学校や中学校を一緒にして、統合した指示系統のもとに教育が出来るか。

答 児童・生徒の交流や教職員の総合交流が熱心に行われている。本年度教育委員会内に課題政策班を置き、一貫校や一貫教育についても事例を参考に研究している。研修会や視察から推進の大切さを感じた。記事の内容については、設置できる制度の導入に向け検討を始めたところだ。教育再生実行会議等注視していく。

問

熊山運動公園野球場に
ナイター設備を

答

真摯に考えていきたい



実盛祥五議員

られる。

市内の野球場を見ても、熊山の野球場だけにナイター設備が整備されていない。各種団体からの強い要望も聞いています。ぜひナイター設備を整備して、地域住民の要望にこたえてほしいと考える。真摯に考えていきたい。

また、国や県の補助金を有効に活用してほしい。

御指摘の

問 熊山運動公園野球場は、平成元年、熊山町時代に整備されており、現在はスポーツ少年団や社会野球のチームなど多くの団体が利用している。特に土日の利用が多く、利用ができないことも多いようだ。ナイター設備があると利用の幅が広がり、特に社会人等の利用が促進されると考え

ように、確かに土日の利用が集中する傾向があり、その解消を図ることは施設の利用促進の大きな課題である。市内におけるナイター設備の利用状



熊山運動公園野球場

況は、かなり低い状況である。このような利用状況下において、設備投資への費用対効果およびナイター利用者が車を所有している社会人が中心であることを考えると、市内の既存ナイター設備の有効利用に対し御理解、御協力をお願いせざるを得ない状況である。このような厳しい財政状況等に御理解をもらい、これから地域の人々と話し合いをさせてもらいたい。真摯に考えていきたい。

問

下水道料金の値上げより、
加入率の向上を

答

加入促進に努めており、
料金改定も検討



福木京子議員

標準額を達成したい。

住宅リフォームの
復活を

問 市は2014年度廃止したが、投資する助成金をはるかに上回る経済波及効果や、業者も住民も地域も元気にする住宅リフォーム助成制度の復活をすべきだがどうか。

答 3年間実施したが、波及効果は広範囲に及び、緊急の経済対策として一定の成果があった。現時点では考えていないが、社会情勢や経済情勢を注視していく。

山陽地域の活性化を

問 町内会では山陽地域の活性化について引き継ぎが行われているが、県、市、



下水道工事の様子

専門家、町内会の代表、公募で意欲のある人等が入った協議会を作って、前に進めていくべきだ。また、県営住宅については特別な協議がある。市として、担当を決めて動き出すべきだ。

答 1年前、山陽地域の皆さんの思いを聴き、さまざまな専門家等の意見を聞いてきたが、明確な答えが見つからない。課題を乗り越えていくには、住民の自治、住民参加の対応が重要。理解してもらった上で、同じ方向に顔が向くようであれば委員会等を立ち上げて進めていきたい。

問

赤磐市リフォーム助成金制度の今後について

答

今後の経済情勢を注視し、判断したい



保田 守議員

住宅リフォーム助成金に代わる新制度を

問 多くの市民が利用し、多大な経済効果があったリフォーム助成金制度が、3年間の期限がきたので廃止になった。制度を履行した3年間の検証を行い、今後は介護・空き家対策・下水道等新しいアイデアを加えた助

成金制度を作るべきではないか。

答 リフォーム事業については、現時点では制度の復活は考えていない。今後の社会情勢や経済情勢を注視していく。

移住定住の促進を

問 赤磐市において、移住を含めた定住促進のための事業に本腰を入れて取り組むべきではないか。

答 御指摘のとおり、移住定住の促進については、今力を入れて取り組むべき課題と考えている。

AEDの設置を

問 現在、赤磐市の公共施設にはAEDが設置されているが、他のスーパーや、一般店舗、工場等にも設置している所がある。AED利用促進のためには、これらの設置

場所が分かるようにはできないか。

答 一般店舗や工場などのAED設置施設の様況だが、今後施設名の公表の有無も含めて調査を行い、ホームページへの掲載を含め、有効な設置情報の周知について検討していきたいと考えている。

若草幼稚園の跡地利用は

問 山陽公民館の利用度が高く手狭になっていく。山陽若草幼稚園の跡地を利用できないか。

答 山陽再生を考えた中、活用方法を十分検討し、クリアすべき諸課題はあるかと思うが、公民館的な利用も可能であると考えている。



AEDの設置場所(市役所)

問

消防団への支援策は

答

消防団協力事業所表示制度を導入する



治徳義明議員

活動に対するさらなる理解と協力が不可欠である。日中における消防団員の出勤率を高めるために「消防団協力事業所表示制度」を導入する。

問 経費削減のために、

公共施設にPPS(電力の自由化に伴い、大量電力を必要とする事業者に割安で小売りする特定規模電気事業者)の導入をすべきでは。

答 できるところから実施に向けて調査・研究する。

問 子育て支援は重要課題である。経済的な支援だけでなく、より子育てしやすい環境を整えることも重要である。野外でのイベント等、乳幼児連れの母親が授乳やおむつ替えに自由に使える

「移動式赤ちゃんの駅」を取り入れるべきでは。

答 花火大会、あかいわ祭りなどに試験的に導入する。

問 鳥獣による農業被害が深刻化、広域化している。①実態調査の被害金額の調査結果は②柵等の設置の個人に対しての補助率を上げるべきでは。

答 ①約4000万円であり、その内、猪が約2500万円である。地域別では、吉井が1300万円と一番多い。②調査・検討する。

問 国も413万頭(全国)と推計される猪、鹿を10年間で半減させると数値目標を決めて取り組む。捕獲および捕獲後の処理・活用の取り組みが、より重要となってくるが、

答 一生懸命取り組みをする。



移動式赤ちゃんの駅

問 桜が丘西幹線街路樹と中央分離帯を処分しては

答 双方とも地域の人々の意見を聞きながら進める



行本恭庸議員

答 経費削減にもなる。街路樹については、処分してほしい人、残してほしい人、双方の意見を聞く。今後のあり方は、市民の人、町内会の関係者等、意見を聞き、適正な管理に努めたい。

中央分離帯について

問 撤去すれば、反対車線側の宅地に入りが容易か切れ目箇所です。危険な状況をよく見る。なくせば、他の幹線道路と一緒にになる。

答 しかも、中央分離帯の樹木の管理は不要となる。水はけはよくなり、土砂も溜まらなく雑草も生えない。現在の舗装はかな

問 プラタナスは広葉落葉樹であり、成長が特に旺盛であり、1年の半分程度しか生い茂らすことができない。管理費が高む樹木である。剪定後の姿は、こぶこぶとしており、見苦しいものと思われる。25年度末に、30本プラタナスを処分している。残りの街路樹も思い切って処分してはどう



街路樹と中央分離帯

り傷んでいる箇所もある。舗装改良に合わせて撤去してどうか。
答 撤去を否定するものではない。地域の人のまちづくりに対する理解、また、何よりも安全対策が十分確認できる状態であれば可能かと思う。

未収金について

問 税については、解消の方向に見えるが、税以外のもの、特に住宅使用料金は、雪だるま式に増加している。いかなる方法で対応するのか。

答 悪質な滞納者については、法的処置に向け、現在事務を進めている。

問 市北部地域の医療体制の将来像は

答 年度末までに方向性を示したい



下山哲司議員

自宅で生活できる体制整備などの要望や意見が出た。年度末までに方向性を示すことができればと考えている。

指定管理施設等について

問 ①リピート吉井の予算増および工期延長について説明を②赤坂天然ライスの議案の差しかえの説明を③赤磐クリーンセンターの入札発注および見積もりについての説明を④吉井ライスセンターについては市長自らが現場視察をして予算づけが、その予算づけがおかしいと思うので説明を。

問 市の医療体制の将来を考える懇談会の概要を懇談会の議事録を示して詳しい説明をせよ。
答 懇談会は、赤磐市の医療体制の充実について調査研究・検討を行うために設置したもので、メンバーは医師3人、区長7人、保健所、民生児童委員会、愛育委員会、社会福祉協議会、市から各1人で構成されている。2月に開催した懇談会では、佐伯北診療所の状況報告、病院から退院後、



赤坂天然ライス

のである。また、工期の変更は、宿泊施設から飲食施設への用途変更に伴う指定管理者との協議および関係諸法令に基づく関係機関との協議に時間を要したためである②議案書を配った後に代表取締役の氏名が漏れていたことに気づき議案の訂正をした③入札により委託管理業務として㈱日本管財環境サービスが運転管理等を行い、5年間の契約金額は2億3112万円である④視察は以前からは利用者が収穫時に困らないようにとしたものである。

問

専門家不在で
公正な入札ができるのか

答

第三者の審査ではないが
内部で公正にしている



原田素代議員

山陽浄化センター運
転管理委託の入札は
「お手盛り」入札で
はないか

問 3月議会でもただし
た、新ごみ処理施設の運
転業務の管理委託の入札
こそプロポーザル方式で
行われるべきではなかつ
たか。

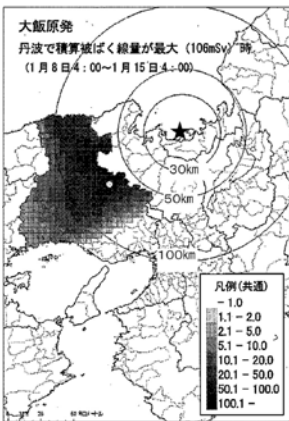
すでに8年も同一業者
が受けている浄化セン

ターの管理委託を新たに
プロポーザルで競わせる
のは無意味だ。結果、予
想どおり今の1社しか応
札がなかった。おまけに
審査員は7人中6人が専
門家でない職員、唯一の
専門家は8年前にこの施
設の設計建設を委託し
た、下水道事業団の職員。
今の管理者との関係が
ある以上「お手盛り」入
札と言われても、否定で
きないではないか。プロ
ポーザルも図書館建設の
時は公開されたのに、今
回は非公開。専門家不在
で公正な入札ができるの
か。

答 第三者の審
査ではないが公
正にしている。

原発災害の
防災計画

問 島根原発



事故の際、安来市から
4250人の避難者を受
け入れることができるの
か。市民の安全につい
ても対応できる防災計画が
必要だ。兵庫県が福井県
の大飯原発の事故を想定
した際、原発から150
km離れた淡路市でも50ミ
リシーベルト以上の被曝
があると予測した。島根
原発から岡山市は120
km。赤磐市は150km圏
内に入る。

国は「避難の受け入れ
計画については把握しな
い」と答えている。一番
の責任者である国が避難
計画について、責任を
とっていない。市長とし
て市民の生命財産を守る
ために防災計画を作成す
べきだ。

答 市長会等で情報を入
手し、考えていきたい。

問

昨年につき山陽団地の再生に
ついて質問する

答

はじめにすべきことは
コミュニティの活性化



丸山 明議員

山陽団地の再生

問 昨年、市長は団地の
再生を住民と一緒に問題
を協議検討すると答えた
が、どうなったのか確認
したい。

答 最初にすべきこと
は、地域コミュニティを
どう活性化するかである。

問 買い物のできる場
所、住宅専用地の問題、
2階建ての県営住宅、中

央ショッピングセンター
跡、住民との協議会の設
置などについては進展し
たのか。

答 連合町内会に出向い
て、話を伺った。用途変
更は住民の合意が必要と
考える。先進的な再生に
繋がるような事例は見つ
からない。今後は、専門
家の意見を聞いてどう取
り組んだらよいか判断
する。

問 今年一歩進め、
空き家対策をしない
か。

答 個人からの情報
提供を空き家情報パ
ンクに登録する。住
民の合意が前提であ
る。法に従って、課
題をクリアしたい。

問 県営住宅を有効
活用して、県営団地
を再生しないか。

答 県には要望を



山陽団地の政策空き家

赤磐の道の駅

問 赤磐市の活性化のた
め全国に赤磐市をアピ
ルできる赤磐の道の駅を
作らないか。

答 今後研究する。

行っていく。県営住宅は、
財政面や管理対策など慎
重に検討する。
問 住民との協議の場を
設置してほしい。

答 協議会を立ち上げ、
問題解決することは難し
い問題であり、住民のコ
ミュニティの力で、一つ
ずつ解決する必要がある
と考える。団地の人々と
一緒に議論を進めていき
たい。

市制10周年記念に シーガルの試合を

招致の声をかけるので 皆さんもご協力を



光成良充議員

い状況である。完成が平成27年にずれ込むと予想されるが、早期着工を働きかけていく。

問 図面ができ次第地元協議を行うとあったが、今後の予定は。

答 予定通り地元協議は、平成26年度中早い時期に県と共に実施したい。

問 4月より35人以下学級を実施した山陽東・北両小学校での様子はどうか。

答 両校を何度か参観し、落ち着いた様子で学習が進められていた。担任の先生、子どもたちからの話でも35人以下学級が有効に機能していると確信している。

問 教育問題について、これから実施していく取り組みは。

答 ・新たな施策として産官学連携事業を進める。

・高陽中学校で行った携帯電話のルール作りを他の中学校にも広げる。
・岡山型学習のスタンダードの徹底を図り教師の指導力向上を目指す。

問 岡山シーガルズは今後も活躍、好成績が望めるが、協定契約金以外の支援は行わないのか。

答 市とチームが共存共栄できるように物心両面の支援体制を確立できるように知恵を絞る。

問 市制10周年記念にVリーグの試合をふれあい公園体育館で行ってはどうか。

答 しっかりと招致の声をかけるので、皆さんのご協力をお願いします。



シーガルの練習風景

子供の成長に福祉の 心養う経験と機会を

福祉学習をより充実する 働きを進める



佐藤武文議員

のネットワークを結び、市民の安全安心を担保すると公言していた。どこまで進んでいるのか。

答 岡山市の医療情報提供、医師会との協力など赤磐市に有益な会議に参加し、ネットワーク化の構築を図りたい。

問 赤磐市の新しい医療体系はいつまでにできるのか。

答 医療体系をどのようにすべきか、議論を深めていきたい。

問 ボランティア活動への積極的参加、高齢者や障がい者との交流を市内の学校へ働きかける。

答 体験学習に、ボランティア・福祉の心を養う経験と体験の機会を増やすべきではないか。

問 岡山市との医療体系のネットワーク化はできたのか

の説明責任も果たされていない。この施設が将来安全安心に操業できるか不安である。

答 安全管理の基本に立ち返り、再発防止策に万全を期する。周辺地区には、自ら協力を呼びかけていく。

問 就任1年目の反省は

答 成果と反省を踏まえ、重点施策を強力に推進する。



エコプラザあかいわ（焼却施設）

交通安全 推進大会 開催

赤磐市交通安全推進大会が、平成26年7月12日（土）に吉井会館で開催されました。

地元吉井地区の「仔の葉の会」による傘踊りが披露されて式典の幕が開きました。式典では地域ぐるみで交通安全の推進

を行って
いる「是
里むら」
が交通安
全功労者
として表
彰されま
した。
交通安
全宣言が
行われた
式典後に
は、赤磐
警察署交
通課の山
田課長を
講師に
「事故



交通安全推進大会のようす

例と教訓」と題し、実際の事故現場の写真などを見ながら実体験を踏まえての講演が行われました。近年、高齢者が関係する事故発生率が高くなっ

てきています。赤磐市も例外でなく、県下でも非常に高い発生率です。

市民一人ひとりが交通安全意識を高め、思いやりの心を持ち、安全で安心できるまちづくりを目指しましょう。

9月定例会 の お知らせ

次回9月定例会は、9月2日から9月26日まで25日間の会期で開催予定です。詳細な日程については8月下旬に決定し、ホームページに掲載しますのでご覧ください。多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

インターネットで本会議配信と 本会議・委員会会議録がご覧になれます



【本会議配信を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

【本会議会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議会議録」と開いていく。

【委員会会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「委員会会議録」と開いていく。

※ インターネットでの本会議録画配信は、平成23年6月 第3回定例会以降のものとなります。

※ インターネットで検索できる本会議会議録は、平成20年3月 第2回定例会以降のものとなります。

※ インターネットで公開している委員会会議録は平成25年2月以降のものとなります。

※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の本会議会議録を閲覧できます。

編集後記

今回の議会広報では、4月に市内各地で開催された初めての議会報告会の意見集約を掲載しております。市民の皆さんからさまざまなご意見をいただきましたが、中には広報へのお叱りもありました。ご意見を真摯に受け止め、気持ちを一新して皆さんに親しまれる編集に努めたいと思っております。

また、この報告会を契機にして、議員一同気を引き締めて、議会活動をすべく決意を新たにしております。

過日、東京三鷹市で前代未聞と言える大量のひょうが降りました。日本列島は今夏も異常気象に悩まされるかもしれません。ご自愛ください。

議会広報編集特別委員

- 委員長 丸山 明
- 副委員長 澤 健
- 委員 岡崎 達義
- 委員 原田 素代
- 委員 治徳 義明
- 委員 保田 守
- 委員 光成 良充